情報メディアの授業活用

～授業におけるメディア活用の効果～

到達目標

- 教師に求められる情報メディアの授業活用力について説明できる。
- 情報メディアの授業活用の形態について説明できる。
- 「学力」の意味について説明できる。
- 授業での情報メディア活用の効果について説明できる。
- 情報メディアの活用において留意すべきことを説明できる。

教師に求められる情報メディアの授業活用力

- **ICT（よく使われる用語）**
  - Information & Communication Technology

- **教員のICT活用指導力のチェックリスト**
  - **文部科学省　平成１９年２月公表**
  - 教員のICT活用指導力の基準の具体化を図り到達目標を明確にするため
  - 小学校版，中学・高校版

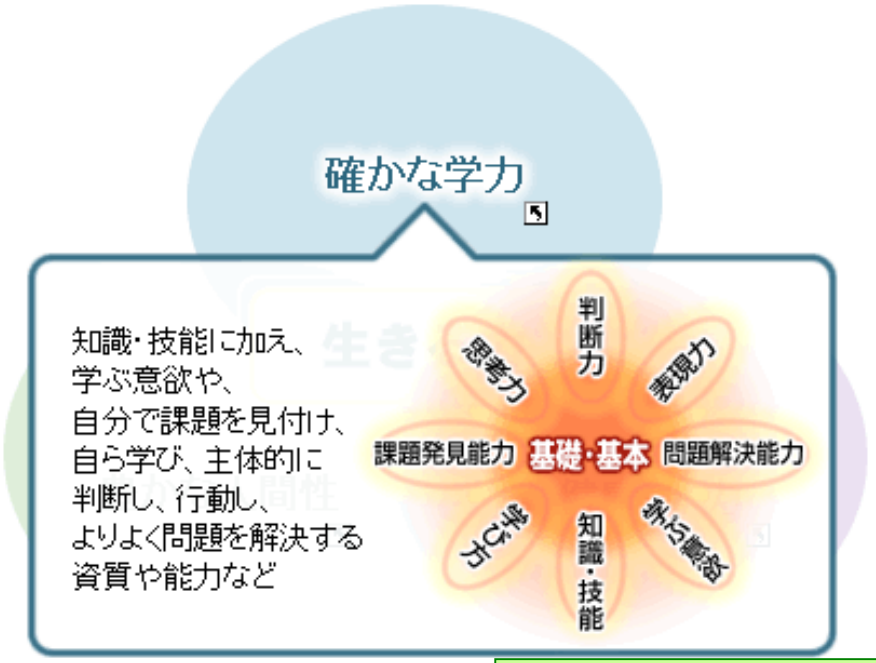
情報メディアの授業活用の形態

- **ICT**
  - Information & Communication Technology

- 教師がICTを活用して授業を行う　①
  - 学力向上促進のため
  - 学力向上とは直接関係ない進行補助
- 生徒がICTを活用して学習　②
- 情報活用能力育成のためのICT活用　③

「学力」の意味を考えよう

- 「学力」についての話題
  - 新しい学力観
  - 確かな学力
  - 学力低下
  - 学力向上のための・・・



文部科学省HPより

- これらの学力は同じ意味？

「学力」の整理

- 知識
- 技能
  - 文脈とは無関係に訓練可能
  - 容易に観察・評価が可能
- 思考・構成力
- 興味・関心・態度
  - 容易には観察・評価が不可能

学力低下

新しい学力観

確かな学力

「学力」が何を指しているかを意識することが必要

学力向上のための・・・

ICT活用の効果について

- ICT活用効果の実証（イギリスの例）
  - ICTを積極的に使う教員のクラスの児童・生徒ほど学力が高い

“たぶん”ICT活用の効果だけではなく，ICT（新しい技術）を積極的に活用しようという意欲のある教師の教育は質が高い，ということ

なぜ授業でＩＣＴを活用する？

- ＩＣＴの特徴
  - 関心が高い（児童・生徒，先生，保護者）
  - マルチメディアによる表現力
  - 仮想現実の環境
  - 正確な記録

- ＩＣＴの特徴は教育の世界では魅力的
  ー＞ＩＣＴ活用でこれまで以上に効果的な授業

授業でのICT活用の目的

- 動機付け
- 課題の提示
- 教員の説明資料
- モデルの提示
- 比較
- 体験の代行
- 体験の想起
- 失敗例の提示
- 振り返り
- 繰り返しによる定着
- 学習者の説明資料

教員研修Web総合システムTRAIN（メディア教育開発センター）での分類

授業でのＩＣＴ活用のために

- 教師自身がＩＣＴに慣れること
  - 身近な情報機器から少しずつ広げていく
  - 携帯電話，デジタルカメラ／ビデオ，パソコン・・・

- 従来と違う教育をしようとしないこと
  - 教育内容は変わらない
  - 従来の授業の中にＩＣＴを組み込むという発想
    - ＩＣＴという選択肢が増えただけ

ＩＣＴを組み込む際の留意点１

- ＩＣＴは万能ではない
  - 教えるのはあくまでも教師
  - 教師を補助するのがＩＣＴ
    ー＞アナログとデジタルの融合

  - ICTの'C'はコミュニケーション
    - 教師と児童・生徒とのコミュニケーションを重視
    - コミュニケーションの基本は「アナログ」

授業で使うには？のICT活用教材例

- アナログ（教師ー児童・生徒）と融合が難しい教材
  - 教育ビデオ（ひたすら見続ける）
  - 小学校で教科書の内容をPPTを使って講義
  - 応用ができないシナリオが固定された教材

- 注意：教材の良し悪しは授業でどのように活用するかに大きく依存

ＩＣＴを組み込む際の留意点２

- 児童・生徒の立場で効果を考える
  - ＩＣＴは便利な道具　＜－　教師（大人）の目線
  - 「便利」≒細かい面倒な作業の省略
    子供にとってはこの面倒な作業も大事な経験
  - 他の例で考えてみよう
    - 電卓は便利．使いこなせることも重要．
      でも，算数・数学の時間に通常は活用はしません

アナログの大切さを認識しよう

- デジタルの特徴・メリットを教えるには・・・
  - アナログの世界を十分に経験させることが重要
    - 便利な世界を先に知るとアナログには戻れない・・・
  - テレビのない世界の良さが想像できますか？
    - 年配の人はそれなりの良さがあったと言います
    - 我々が今さらテレビのない世界を体験したら？
  - ワープロで書かれた卒業文集ってどう思う？

授業におけるICT活用のマイナス面

- 関心が高い（子ども，先生，保護者）

本来の教育内容に対する関心は？

- マルチメディアによる表現力
  - 音声，画像，動画，3D･･･

思考することの放棄？

- 仮想現実環境

想像することの放棄？

- 正確な記録（無限の情報量）

関心･目的の分散？

ICT活用の効果が疑問な例 1

- 教育的に結論に当たる内容の動画像を最初に提示（動機づけのために）
  - ICTは関心が高い
    ー＞インパクトが強すぎて他に意識がいかない

- 国語の文章読解力の補助として，文章が示す情景をアニメーションで提示
  - 文章から想像し理解できる能力が読解力

ICT活用の効果が疑問な例２

- 草花をコンピュータ上で育成シミュレーション
  - うまくいかないとリセットでやり直し
  - 子供は現実と仮想現実の区別が容易にできない

- 課題活動の状況をいちいちデジカメで記録
  - 後でデジカメの映像を見てまとめ作業
  - スケッチすること，記憶することも大事
    –＞各シーンでの注意力・集中力の低下に

ま　と　め

- 常により良い授業をすることを心がけることが重要

- 授業でのICTの活用で考えるべきこと
  - 従来の教育にICTを組み込むという発想
    - ICT活用の目的は何か？
    - それはICTの特長を活かしているか？
    - ICTを活用しない場合と比較してどうか？
    - アナログとの融合は適切か？

  - 大人の目線ではなく子どもの目線で考える
    - 便利は児童・生徒の教育の機会を奪うかも
    - マイナス面についてきちんと考えた上で判断